

読者のひろば

太平洋戦争中、日本各地において米軍により爆撃が繰り返された。昭和20(1945)年8月5日、前橋市でも空襲があり、前橋市街地の8割が焦土と化し、535人も尊い命が奪われた。前橋空襲から77年を迎えた。

前橋空襲を語る

高崎地本前橋支部 金子 侑司

橋教会において行われ、私は学芸員として前橋八幡宮にて、宮司、市民、前橋商業高校生、報道、市役所職員ら30名の前で空襲についての説明を行った。龍海院、長昌寺に次いで今回この行事が始まり3回目である。内容は市民からの聞き取りをもとにしたものでB29の焼夷弾が投下された当時の避難の様子、黒煙と真っ赤な炎が立ちあがり、二子山は死体の山になっていくのが実情であった。旧中島飛行機の関連会社等に爆撃があり、この空襲で1万1518戸が焼け、前述のとおり535人の死亡が確認され、その時の家族の実態は、防空壕に有志(今の自治会館)らの指示のもと避難した。妻子らは脅え、火だるまになり広瀬川に飛び込む者、家族を失い空襲で家を焼かれ彷徨する人々の現

実は静まり返っていた。現在、ロシアの侵攻によりウクライナの人々は苦しんでいる。知識人の的確な判断と指示を切に望みたいものである。
(編集部注…1945年8月5日夜から6日未明にかけて、群馬県前橋市街地を襲ったアメリカ軍による空襲。被災面積は全市の22%、被災戸数は全市の55%、被災人口は全市の65%に及んだ)

「ぼっぼや」と聞けば真面目で堅物、融通の利かない男を想像してしまいます。湯浅次郎著『鉄道員(ぼっぼや)』はそんな人物にスポットを当て、いつも駅に立ち続ける駅長の最後の1日を描いた短編で、映画化もされ、高倉健が鉄道員の矜持を見事に演じておりました。

鉄道員(ぼっぼや)

大阪地本大阪北支部 湯浅 ひとし

今、スマホ等の通信機器

私が入社した頃は、本当に鉄道一筋で、とにかく今の仕事は何よりも好きな方が多かったように思います。現に退職間近の先輩には重い病で入院され、医師より余命宣告を受けた方がいました。医師は「残りの時間は好きなこと

をしない。何がいいですか」とすると、その答えは衝撃的でした。「もう一度駅で働きたい」と言われたのです。そして、周りの理解と協力により復職され、亡くなる直前まで勤められました。そのようなことができたのは、一緒に働く人たちが、職場を愛すると同時に、人と人との繋がりを大切にされていたからなのです。私が若い頃に勤めていた職場は小さな駅でしたが、勤め始めから退職まで同じ職場で勤めるという人は少ない

の発達により、紙の時刻表は姿を消す運命にあります。お客様との信頼やコミュニケーション作りは、今も重要な役割を果たしています。ほかにもわざわざ線路脇に自宅を建てた方もおられます。退職後

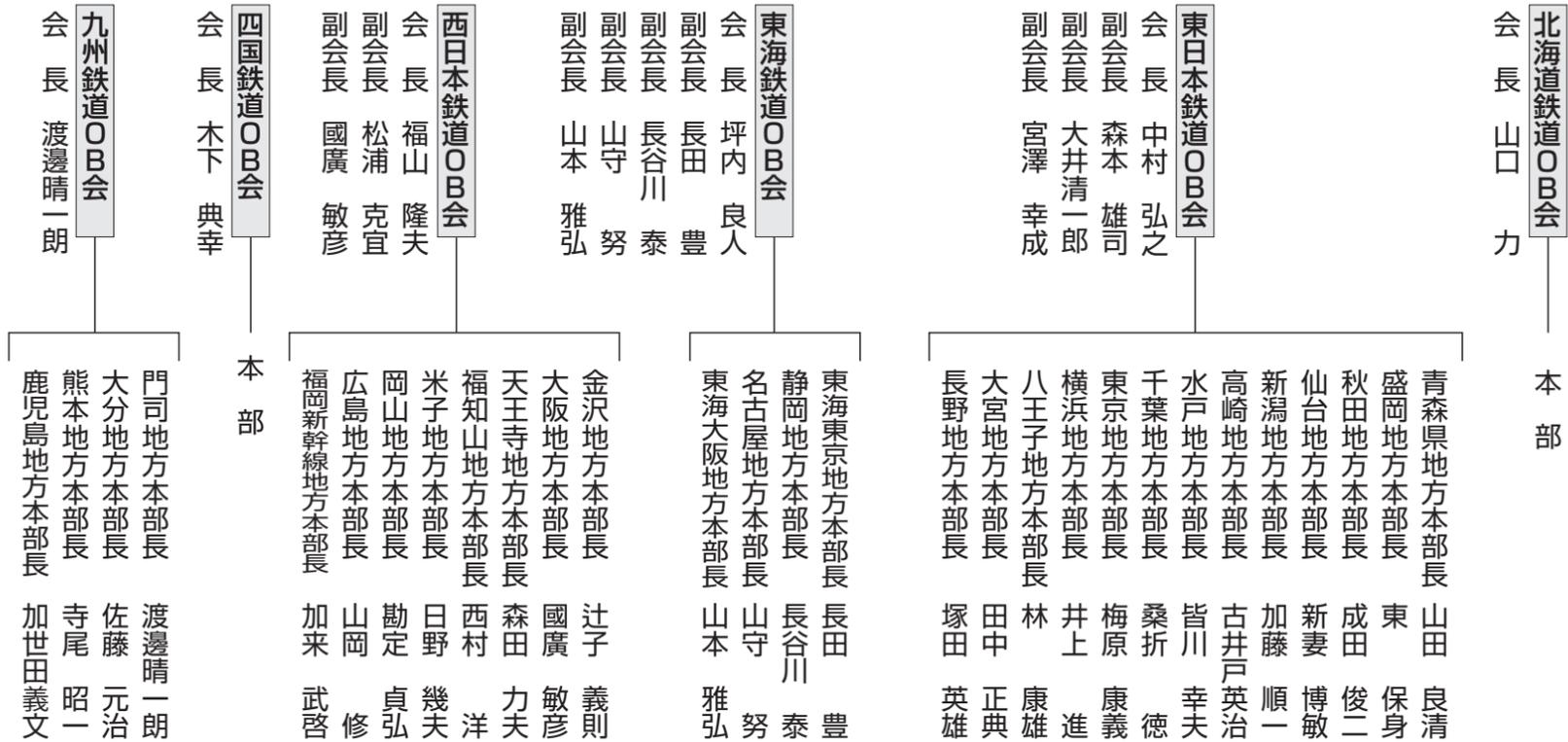


日本鉄道OB会連合会組織一覧

(敬称略)

令和4年7月21日現在

顧問	野沢 中島 小崎	連合会本部	会長 中村 弘之	理事 大井清一郎	評議員	萩原 国彦 (JR北海道常務取締役)
	副会長 福山 隆夫		理事 松浦 克宜	喜勢 陽一 (JR東日本代表取締役副社長)		
	副会長 坪内 良人		理事 木下 典幸	丹羽 俊介 (JR東海代表取締役副社長)		
	専務理事 岩崎伊佐雄		理事 渡邊晴一郎	倉坂 昇治 (JR西日本代表取締役副社長)		
	理事 宮澤 幸成		監事 横山 裕司	四之宮和幸 (JR四国代表取締役専務)		
	理事 山口 力		監事 藤川 紳	松下 琢磨 (JR九州取締役常務執行役員)		
	理事 森本 雄司			篠部 武嗣 (JR貨物取締役常務執行役員)		





鉄道OB会の活性的に努め、OB会の活
化が廃れると、会員は
得てして家に閉じ籠
りがちになり、ますま
す健康問題が懸念さ
れる。会員が明るく

鉄道OB会に感謝

盛岡地本紫波支部 金澤 輝穂

楽しい人生を歩んで
もらいたいと支部長
の深い願いと思いや
りから支部長や執行
役員は会員の個人把
握をきめ細かく積極

性的に腐心努力されて
いる。
このため、年間行事
や月間行事を「紫波支
部報」として発行。会

今年、コロナ禍の
ため交流会が中止と
なったが、ほかの行事は
計画通り実施され、ポウ
リング大会を残すのみ
となった。

OB会の行事に参加
員の関心と意欲をそそ
る一言を添えた親切て
いねいな情報である。
情報は新年会、無人
駅3駅の清掃活動、観桜
会、総会、グラウンドゴ

年末年始安全輸送総
点検と太い墨書を見な
がら訓練室に向かった。
他地区で発生した事故
の概況や「運転取扱規
定」の一部修正、機関車
の応急措置や列車脱線
事故を想定した列車防
護の手順などを毎月2
時間学ぶことになって

OB会の行事に参加
私の関心と意欲をそそ
る一言を添えた親切て
いねいな情報である。
情報は新年会、無人
駅3駅の清掃活動、観桜
会、総会、グラウンドゴ

OB会の行事に参加
私の関心と意欲をそそ
る一言を添えた親切て
いねいな情報である。
情報は新年会、無人
駅3駅の清掃活動、観桜
会、総会、グラウンドゴ

安全綱領から学んだ教訓

仙台地本郡山支部 渡辺 成典

が最優先なのです。と
ころで、今日は215列
車に触れてみたいと思
います」と切り出した。



盛っている炎に石炭
を投げ入れた。火床
は火花が炸裂したよ
うな輝きを放ち、黒煙
は冷え切った空気に
晒され、長い尾を田畑
の上に流していた。

25の急勾配に向かうに
は缶水を85%は確保し
なければ険しい峠は登
れないのに、遅れを気に
して75%で発車してし
まったのである。最後

人間は賢くなり、体の一
部として技量が磨かれ
ていく。失敗は恐れる
ものではない。次にど
うするかだ」と講師は締
めくくった。

ちなく考え最も安全
と認められるみちを
採らなければならな
い。
「はい、ありがとう。
安全と無事故という両
輪は、この綱領の中に深
い意味がこめられてい
ます。何を犠牲にして
も守るべきものは安全

私が子供の頃は着物
の時代で、兄(姉)のお下
がりや弟(妹)が着て、ほ
ころびを母が夜なべを
して繕ったもので、戦時
中の合言葉は「欲しがら
ません勝つまでは」

苦しんでいる人々が
ることを忘れてはなら
ない。
毎日の生活に必要な
のが電気で、日本の電力
の燃料は外国に依存し

私どもはどうすること
もできない。地球上に
水は豊富にあっても、生
活に使える水はわずか
で貴重なものであり、一
滴の無駄も許されない。

外に出ると長靴が埋
るほどのぼたん雪が降
り続き、機関車には正月
飾りがかけてある。来
年は心機一転新たな気
持ちで自分を高めよう
と誓った。

ヘレン・ケラーの手

大阪地本大阪北支部 茂木 攻

その時、
差し延べた。
今から70年ほど前の

日頃から節約の心構えを

門司地本小倉支部 杉本 幸廣

自然災害も多く、資
源に乏しく、食料自給
率も低いわが国だ。不
測の事態が発生しても
対応ができる心構えを
養っておくことが必要
だと思ふ。

皆さんは映画や舞台
で有名な『奇跡の人』を
ご存知だろうか。もち
ろん、私も映画を観てい
るし、テレビで再映も観
た。舞台では、確か大竹
しのぶが主演していた
と思うが、残念ながら観
たことはない。映画は
1962年に制作され
たもので、ラスト10分間
は何度観ても涙が止ま
らない。ヘレン・ケラー
はアン・サリヴァン先
生の助けを借り、自宅の
庭にある井戸から手押
しポンプで汲み上げら
れた水に手を触れ、「w
ater(水)」という言
葉を知ることになり、言
葉の存在に気付いたへ
レンは歓喜する。映画
の中で最高の劇的シー

比較的裕福な家庭に
生まれたものの、耳が聞
こえない、目が見えな
い。さらに話すことも
できないという三重苦
のアメリカ人女性と彼
女の家庭教師として招
かれたアン・サリヴァ
ン先生との
出会いから
始まり、先
生の愛情と
献身的な指導をして、彼
女の持つ生まれた努力
と根性によって大学
を卒業。一般女性と何
ら変わらない生活を送
れるようになるまでの
2人の葛藤を描いたも
のである。
後にヘレン・ケラー
女史は講演や社会福祉

活動により世界を回り、
日本にも3回来られ、日
本が大好きな女性で
あった。ある時は見え
ないもののキモノに魅
了され、袖を通したり、
秋田犬をアメリカに連
れ帰り、飼育している。
今から70年ほど前の

話された。終わった
後、予定にあつたかどう
かわからないが、女史は
座っている我々生徒の
輪の中へ入って来られ
た。緊張し興奮した
我々も思わず立ち上が
り、手さぐりで歩を進め
る女史を取り囲み手を
差し延べた。
その時、
差し延べた。
今から70年ほど前の

の人生で忘れられない
出来事であった。
女史が日本に来て観
光地を訪れ、安芸の宮島
に立ち寄った際、手に触
れた石灯籠は今もそこ
にあるという。
また、ヘレン・ケラー
女史の生家はアメリカ合

衆国アラバマ州のタス
カンビアというところ
で人口1万人に満たな
い小さな街であり、生家
にある井戸のポンプは
現在も記念として残さ
れている。ただし、水を
汲み上げることはでき
ないそうだ。

私どもはどうすること
もできない。地球上に
水は豊富にあっても、生
活に使える水はわずか
で貴重なものであり、一
滴の無駄も許されない。
水がなければ生きて
いけない。

「老春時代」のど真ん中にいる皆さん、お元気ですか。

皆さんはどちらの考えですか。もう70歳台か…まだ70歳台か。

我が老春時代の思い

大阪地本直属支部 久富 明雄

現代なら私は後者の方ですね。今は人生峠の7合目あたりを一步一歩ゆつくり歩いているところですよ。「一度きりの人生」、大いに楽しまなきゃ…。

私は今年で50周年を迎える伝統ある少年野球(学童)チームで球拾いをして、「野球小僧」ならぬ「野球老人」で近は木陰で休憩している。追いかけて、やはり歳には勝てませんね。汗をびっしょりかいた後の「冷え冷えの麦茶」が最高です。まだまだ元気に子供たちと一緒にボールを追いかけたい。「少年野球大好きじじい」は、健康管理に十分注意しながら元気な毎日を過ごしていきたいです。

高架下が未来の商業地区に変身！

八王子地本所沢支部

当支部は「歩こう会」を11月11日(金)に開催し、欠席者が多い中、5名が参加して「日比谷OKURORII(オクロジ)」へ向かいました。

ここは有楽町駅、新橋駅間の高架下に開業した商業施設です。この駅間は建設年代の異なる高架橋があり、山手線と京浜東北線が走る日比谷側(西側)の門構え・レンガアーチの高

架橋はドイツ人鉄道技師指導での日本初の鉄道高架橋で1910年に開通しました。その隣、東海道本線と東側の東海道新幹線の高架橋は鉄筋コンクリート造りで、それぞれ1942年、1964年に使用が開始されました。

線路を高架にするのは1888年の「東京市区改正条例」で決まったとか。高架は街の発展を阻害することがないようにするもので、この約300mの場所に飲食店を中心に50店舗が散策路を挟みゆつたり軒を連ね、広場のような空間地帯であり、そこに当時の歴史的なレンガとコンクリ塊が手で触れられ当時の情景

支部だより

長野3支部合同物故者慰霊法要

長野地本長野中央支部

長野3支部(長野中央、北、南)では、10月15日に3支部合同物故者慰霊法要を、中央支部からは12名が参加し、善光寺大勧進の万善堂で開

催しました。今回は、2021年9月から2022年8月末までにお亡くなりになられた会員、準会員45柱(中央支部は19柱)の法要です。

今年の善光寺はコロナ禍の影響で1年先延ばしされた御開帳が4月3日から6月末まで開催され、全国各地から訪れた参拝者は630万人を超え大盛況でした。

さて、当日は長野北支部が当番で、岩井正明支部長のあいさつで始まり、法要は栢木貫主並びに一山住職による立派で厳かな法要となりました。個人お一人おひとりのお名前を唱えていただき、ご遺族の皆様の心に沁みいった法要でした。

終了後の反省茶和会では、長野北支部のご遺族の皆さんにお話をいただき、鉄道OB会の益々の発展を祈るとお言葉を頂戴して終了しました。



今回もコロナ禍という状況の中でマスク着用、検温、消毒、テーブルにはアクリルパネル設置など、寺側もコロナ感染症防止等かなり厳しい対策をしていただきました。来年は10月14日の開催に決定し、担当幹事は南支部となります。ご遺族の皆様方をお送りして解散いたしました。(高木敬介)



松島瑞巖寺境内には「鉄道殉職者弔魂碑」が祀られており、10月20日に開催されるJR東日本東北本部主催の慰霊法要を前に当支部では、10月18日に南仙台支部、仙塩支部と一緒に清掃活動を実施しました。

鉄道殉職者弔魂碑の清掃活動

仙台地本仙台支部

松島瑞巖寺境内には「鉄道殉職者弔魂碑」が祀られており、10月20日に開催されるJR東日本東北本部主催の慰霊法要を前に当支部では、10月18日に南仙台支部、仙塩支部と一緒に清掃活動を実施しました。新型コロナウイルスのため代表者数人で行って

ましたが、3年ぶりに希望会員を募った結果20名が参加し通常通り実施しました。作業では、お揃いの鉄道OB会の帽子、上着を着用し、マスクもしっかりと着用して実施しました。久しぶりの他支部会員らとの交流で近況を報告し合ったり、想い出話を交わしながら短い時間で終了しました。

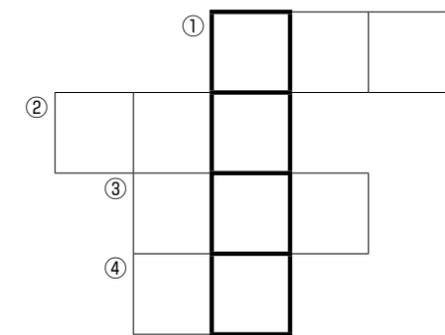
きれいになった弔魂碑に用意した生花を献上し、黙祷を捧げました。当日は、コロナ感染

縮小傾向と国の全国旅行支援策もあり、松島には多くの観光客が来て賑わい、コロナ禍以前顔の合わせた懇親の場話をはずませ、親睦を深め、コロナ感染の早期終息を祈って散会しました。(菊地稔)



クイズ あらかると

No.23

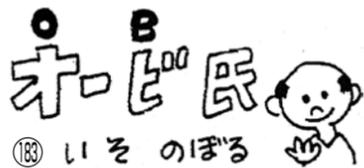


①～④のヒントからそれぞれ□の中を駅名で埋め、太線の□に隠されている言葉を答えなさい。

- ①新幹線の駅。来年民鉄2社の連絡線が整備され、この駅を経由して直通運転開始でも話題です。
- ②中央線の駅で所在地は日照時間が日本一長いことでも知られています。
- ③函館本線と室蘭本線の分岐駅、北海道新幹線の駅が設置される予定です。
- ④美弥線の駅で次駅との駅間は同線区で最も長い9.9kmあります。

抽選で正解者10人に500円図書カードを差し上げます

抽選で正解者10人に500円図書カードを差し上げます。はがきに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、所属支部、今月号で良かったと思う記事のタイトルを書いてお送りください。【宛て先】〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 日本鉄道OB会連合会本部 鉄道OB新聞編集部クイズ係 ◎締め切り=3月31日



「駅からハイキング」に参加

大宮地方本部

当地方本部では、コロナ禍でのストレス発散、健康増進、そして各支部との親睦交流、JR施策の支援を目的に、9月22日JR大宮支社設定「駅からハイキング」グリンムの里いしばしで歴史や

ドイツの文化にふれ「」に、越谷、大宮、蓮田、古河、小山、宇都宮の6支部22名、全体では80名が参加しました。

当日は台風14号の影響が心配されましたが、好天に恵まれ絶好のハイキング日和となりました。

10時にJR石橋駅に集合。駅長や販売課長の歓迎を受け、ハイキングコースで、道中和気あいなの中、笑顔満面の光景はハイキング終了まで絶えることはありませんでした。

途中、中世ヨーロッパ風の建物「グリンムの館」では、メルヘンチックなグリンムの森や童話の世界でたちまち童心に導かれ堪能していました。

また、天応元年(781)新幹線開業30周年、秋田新幹線開業25周年と節目の年を迎えた「鉄道の日」を記念して、9月21日から10月28日まで「懐かし思い出鉄道写真展」をJR仙台病院ロビーで開催しました。

近隣の支部会員を含め13名の鉄道OB会会員らが、大切に保有する43点の懐かしい思い出の鉄道写真を持ち寄り展示し、改めて写真から当時を思い出し、懐かしんでいただきました。

主な展示写真は、昭和4年頃の塩釜港駅全景、昭和13年頃の長町駅構内、国鉄バスと新人ガラの国鉄・ようこそJR貨物「記念列車出発式風景」などです。また、水害により11年間も不通となり、奇跡的に10月開通した只見線ですが、只見川沿線を走るC11形蒸気機関車と風光明媚な風景写真も注目を集めていました。

短歌及び川柳休載のお知らせとお詫び

1月号の短歌及び川柳は、都合により休載いたします。ご投稿いただきました皆様には心よりお詫びを申し上げます。

(編集部)

鉄道開業150年記念「懐かし思い出鉄道写真展」開催

仙台支部は、今年鉄道開業150周年、東北新幹線開業40周年、山形

城址入口には「見山城址守り隊」の方がいて築城の経緯や城の役目などの説明がありました。

今から700年前の鎌倉時代の終わりごろ宇都宮氏により宇都宮城の南方を守るために築城されたと伝えられています。現在も本丸の土塁、堀はほぼ往時の様子をとどめており中世の世が偲ばれます。

見線雪害に伴う特別排雪列車「キマロキ」運転、昭和57年6月仙台駅における東北新幹線(大宮盛岡間)開業出発式、雪試験電車出発式、東日本大震災緊急石油輸送列車の雄姿、日本貨物鉄道東北支社発足式典、伊達政宗公による「サヨナラ国鉄・ようこそJR貨物」記念列車出発式風景

写真展を鑑賞された方から「数十年前の人生と重ね合わせて、心から懐かしく眺めさせていただきました。特に、自分が勤務し関係した仙台駅や田子倉電源開発鉄道、豪雪と闘う会津人と排雪列車「キマロキ」など懐かしいです。この企画は大変素晴らしいです」と感想を寄せていただきました。

「鉄道OB新聞」では、原稿を随時募集しています。「読者のひろば」は800字程度でテーマは自由、「支部だより」は支部の活動を200～400字程度で写真を1枚添えて、所属支部、氏名、年齢、住所、電話番号を明記して下記宛て先までお送りください。

投稿募集

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 日本鉄道OB 会連合会本部「鉄道OB 新聞」編集部

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-9-1

日本鉄道OB 会連合会本部「鉄道OB 新聞」編集部

俳句

中村重雄 選

天 仙 台 松田 俊洋

秋夕焼ポプラ小径のトラピスト 評 トラピスト修道院とは厳しい戒律を守る寺院であるが、そこへポプラの小径があり、今秋夕焼の中にと、景のよく見えて抒情豊かな秀句である。

地 館 山 小形 博子

はるかなる夕照の波芒原 評 はるかに見える芒原が夕日に映えて波を打っているのが目前に浮かび、この句も抒情性のあるすぐれた感性を表現しており、無駄な言葉が一つもない。

人 宇 部 藤田 猛士

うかがわれる。対象物と自分を「ひとりひとつ」という認識は鋭いものである。

秀逸 黒磯・那須 高久 巻江 終電の去りしホームや秋の雨 香川 中川 義博 師走くる瀬音寂しき遍路みち 高崎 保泉 初音 かさこそと落葉かろやか身も軽し 東京直属 早坂 哲夫 子供らの席定まりて雑煮椀 直江津 市川 征郎 踏みし葉の奏つ音色や暮の秋 倉 吉 絹川喜久子 樹々風に揺れ天心に月冴ゆる 浦和 荒井 春雄 秋晴れや最前列のイルカショー 本部直属 安原 明

啄木鳥や山の小さな美術館 いわき 酒井 洋子 友を得て学ぶ楽しさ初句会 あぶくま 大友みつ江 恙無く静かに老けて年惜む 江戸川 小野すみさの 百までは生きたくはなし花八手 米子 小谷世司人 日野川や落鮎狙ふ鷺の群 長門 中原 清 S.Lの地を這ふ汽笛今朝の冬 長野南 倉石みつる 廃線の穂芒夕陽に染まりをり 熊本 吉田 哲 峠越し機関車惰行大晦日 佐倉 浅井 芳夫 冬ざれの野積みに群る鴉かな 仙台 小林 晴江 バス停が出来て便利や年迎ふ 仙台 小林 善司

補聴器をつけて聞き入る残る虫 仙 台 菊地 稔 電工ののぞく空に鱗雲 盛岡 餘目 忠吉 刈り終へて空高々と群れトンボ 高崎 藤井 利次 コスモスの下に隠れる雀どち 福知山 田中 一郎 気は急ぎ体動かぬ年の瀬や 舞鶴 松宮 宏昌 新雪の歩幅の穴やメタボ猫 賀茂 腰本 直治 愛犬の逝きての散歩秋の暮 名取 山本 達 百の鴨流れのごとく泳ぎをり 名取 大久 年美 彼岸過ぎ墓の花枯れ淋しかり 新庄 斎藤 俊治 秋深し昼にくつろぐラジオかな

城址入口には「見山城址守り隊」の方がいて築城の経緯や城の役目などの説明がありました。

今から700年前の鎌倉時代の終わりごろ宇都宮氏により宇都宮城の南方を守るために築城されたと伝えられています。現在も本丸の土塁、堀はほぼ往時の様子をとどめており中世の世が偲ばれます。



見線雪害に伴う特別排雪列車「キマロキ」運転、昭和57年6月仙台駅における東北新幹線(大宮盛岡間)開業出発式、雪試験電車出発式、東日本大震災緊急石油輸送列車の雄姿、日本貨物鉄道東北支社発足式典、伊達政宗公による「サヨナラ国鉄・ようこそJR貨物」記念列車出発式風景

写真展を鑑賞された方から「数十年前の人生と重ね合わせて、心から懐かしく眺めさせていただきました。特に、自分が勤務し関係した仙台駅や田子倉電源開発鉄道、豪雪と闘う会津人と排雪列車「キマロキ」など懐かしいです。この企画は大変素晴らしいです」と感想を寄せていただきました。

「鉄道OB新聞」では、原稿を随時募集しています。「読者のひろば」は800字程度でテーマは自由、「支部だより」は支部の活動を200～400字程度で写真を1枚添えて、所属支部、氏名、年齢、住所、電話番号を明記して下記宛て先までお送りください。

前回クイズの正解と当選者の発表

前回クイズの正解発表です。答えは「肥前山口」でした。今回の図柄は



大友みつ江さん(あぶくま支部)です。正解者の中から抽選により下記の方が当選されました。おめでとうございます。

●当選者…芳賀克巳(秋田)、高橋弘矩(花巻)、高木義男(いわき)、柳田伸一(郡山車両センター)、小越哲生(長岡)、市川博(長野南)、若原明生(米子)、林守夫(門司)、松尾マサヨ(折尾)、石本憲一(熊本)

編集後記

明けましておめでとうございます。まだまだコロナが心配ですが、各種規制も解かれ久しぶりに自由な新年を迎えることが出来たのではないかと思います。毎年、行きたいところ、やりたいこと等ありますが、なかなか実行できません。今年も一つでも実現できるのではと自分に期待しているところです。

(横川)